

次世代リモート接続&サポートソリューション『TeamViewer Remote』新機能の紹介

新しいユーザーインターフェースとウェブクライアント

より直感的でモダンな新しいユーザーインターフェースに改良しました。



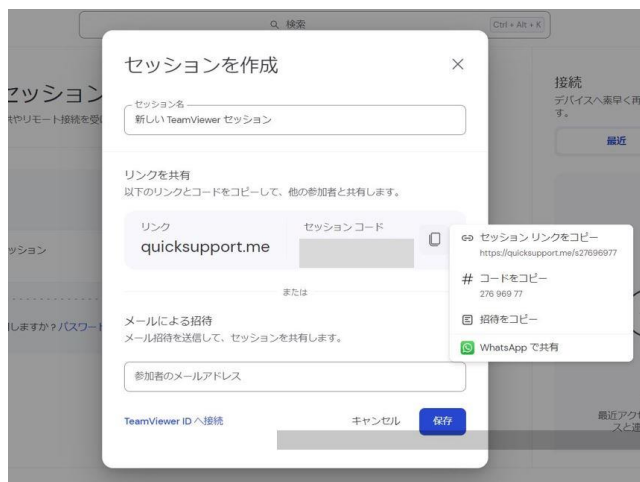
モダンなルックアンドフィール – 高品質なサービスを反映した、これまでにない新鮮なデザインと操作性。

ウェブファースト – デスクトップ版とブラウザ版間のギャップを埋めるすべての機能を備えています。

生産性の向上 – ユーザージャーニーを再設計し、数回のクリックで簡単に接続できるようになりました。

接続方法の簡素化

これまで『TeamViewer』への接続は、IDとパスワードの入力に依存していましたが、今回の刷新でより簡単で安全に接続できるよう改良されました。



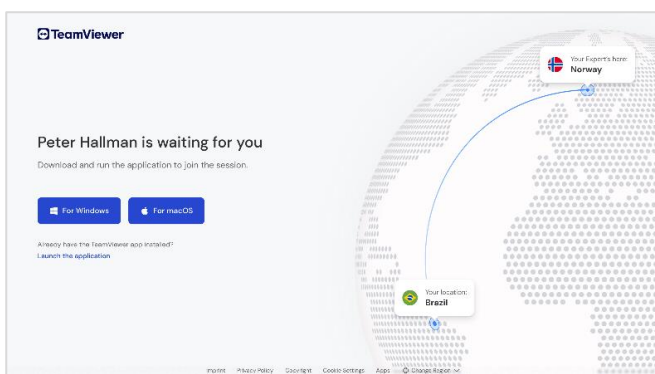
利便性 – サポートを提供する側も受ける側も、オンラインミーティングに参加する感覚で簡単にサポートセッションに入ることができます。ワンクリックで接続ができる招待リンクは、電子メールやWhatsAppなどさまざまなチャネルで簡単に共有可能です。

セキュリティ – 各セッションリンクは1回のみ使用可能で、使用後は自動的に失効します。

代替方法 – IDとパスワードを使用したいユーザーは、IDとパスワードでのリモートセッション確立が可能です。別メニューに表示されます。

着信接続に関して

『TeamViewer Remote』は、リモートセッションを開始する前に着信接続に関するより多くの情報を確認できるようになりました。



透明性の向上 – ユーザーは接続側の地理的情報や、電子メールアドレス、ライセンス版または無料版のTeamViewerなのか、バージョン情報を確認できます。

信頼の構築 – 『TeamViewer Remote』により、ユーザーは正当なリモートサポート要求を識別し、プラットフォームの不正使用を防止することができます。

追加のセキュリティ機能

『TeamViewer Remote』は、セキュリティをさらに強化するため、追加のプロセスおよび機能を導入しています。



アカウント作成の義務化 - 『TeamViewer Remote』では、当社のプラットフォームの正当な使用を強化するために、ユーザーアカウントの作成が必要です

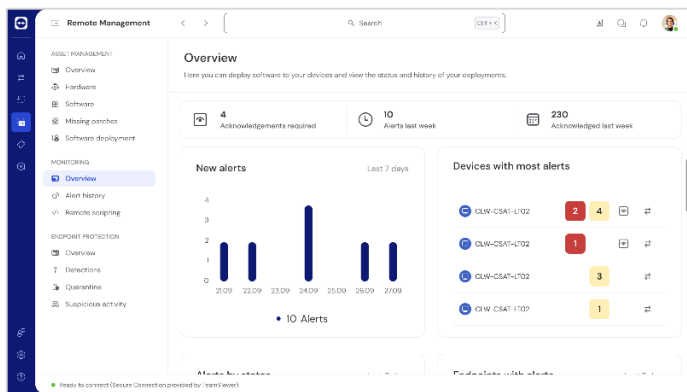
個人用暗号化キー - アカウント作成に既存のMicrosoftまたはGoogleログインを使用する場合、ユーザーには追加の個人用暗号化キーを設定するよう求められます。これは、MicrosoftまたはGoogleの認証情報とは別でTeamViewerのログインを保護するためのものです。

ガイド付きオンボーディング - ユーザーは、2要素認証の設定を求めるガイド付きオンボーディングを受け、設定ミスを防

ぎ、セキュリティを向上させることができます。

法人のお客様向けの集中的なリモート監視と管理

リモート監視と管理機能が『TeamViewer Remote』クライアントに統合されITプロフェッショナルのための付加価値を提供します。



リモートデバイスとネットワークデバイスの監視 - ITインフラストラクチャの問題を早期に検知し、ITプロフェッショナルによるデバイスの検査を必要とする場合に警告を送信します。

アセットマネジメント - 配置されたすべてのハードウェアとソフトウェアの概要を示し、IPアドレスやオペレーティングシステムなどのデバイス情報をリアルタイムで取得します。

ソフトウェアの展開 - ITプロフェッショナルは、一度に複数のデバイスにソフトウェアを展開することができます。インストールはバックグラウンド行われ、エンドユーザーに与える障害はありません。

パッチマネジメント - 古いソフトウェアによる脆弱性を検出し、ITプロフェッショナルが手動または自動で不足しているパッチを導入することができます。